佳作

あかちゃんがうまれたよ

群馬県 太田市立沢野小学校一年　渡邉 庵

ぼくには、おにいちゃんとおねえちゃん、ちいさいおにいちゃんの三にんのきょうだいがいて、四にんきょうだいです。

このなつ、ぼくにはじめてのいもうとがうまれました。ぼくは、ずっといちばんしただったので、いもうとうができてとてもうれしかったです。おかあさん、いもうとをうんでくれてありがとう。ちいさいおてて、ちいさいおかお、ちっちゃくてかわいいあかちゃんをはじめてみたとき、ぼくはいままでにかんじたことのないきもちになって、こころがポカポカとあたたかくなるようなかんじがしました。

おかあさんが、びょういんににゅういんすることになって、おかあさんがいなくなってとてもさみしかったけれど、ぶじにあかちゃんがうまれてくれてよかったです。

よていよりもはやくにゅういんをすることになってしまったので、なんにちもまって、やっとおかあさんがあかちゃんをつれてかえってきました。あかちゃんは、びっくりするくらいたくさんなきます。おなかがすくとないて、おしりがよごれるとないて、だっこをしてほしくてもなきます。はじめは、かわいくてちいさななきごえも、どんどんおおきくなってうるさいくらいです。

あかちゃんは、二じかんごとにみるくをのみます。ねるまえもみるくをのみます。よなかも二じかんごとにないてみるくをのむので、おかあさんは、ねむくてもみるくをあげています。おかあさんががんばっているのをみて、ぼくは「おかあさんたいへんだな」とおもいました。ぼくがあかちゃんのときも、おにいちゃんたちがあかちゃんのときも、おかあさんはおなじようにがんばっていたときいて、びっくりしました。あかちゃんのおせわにごはんをつくったり、せんたくやそうじをしたり、ねむくてたいへんでも、それでもおかあさんは、がんばります。ぼくは、おかあさんのためにせんたくをしまったり、おかたづけをしたりしました。きょうだいでとうばんをきめて、ちからをあわせて、てつだいをすることにしました。おかあさんがやっているしごとがたくさんあって、さいしょはちょっとめんどくさかったけれど、四にんでがんばるとだんだんたのしくなってきました。

「おかあさんががんばっているから、みんなでがんばろうね。」

とおとうさんがいっていました。

おかあさんはびょうきではないけれど、おかあさんがいなくてとてもたいへんなのをしりました。かぞくみんながげんきでいることがいちばんしあわせです。六人だったかぞくが七人になって、ぼくはとってもうれしいです。